

- 問1 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問2 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
- 問3 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？
- 問4 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 問5 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 問6 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？
- 問7 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 問8 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 問9 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 問10 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問11 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 問12 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 問13 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 問14 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 問15 奈良県の法隆寺などが代表する、現在世界で最も古い建物群のことを何という？
- 問16 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？
- 問17 聖徳太子や蘇我氏を中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 問18 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 問19 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
- 問20 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 問21 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 問22 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
- 問23 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 問24 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？
- 問25 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？